

実施概要

目的	建築・不動産・金融・ビジョン策定・人材育成など多様な観点から、エリアマネジメントを推進する民間人材を、実践を通じて育成すること。		
対象	兵庫県内でエリアマネジメント活動にすでに取組んでいる・または将来的には取組みたいと考えている各回の実践塾に参加できる方。		
参加費	無料	定員	20名程度

スケジュール

8.30 (土) エリアマネジメント実践塾 受講生募集開始

11.25 (火) エリアマネジメント実践塾 受講生募集締め切り

12.14 (日) 10:00-17:00 第1回実践塾
ガイダンス+座学+個別ワーク
『地域資源を「発掘」し「ビジョン」を定める』1.24 (土) 10:00-17:00 第2回実践塾
1.25 (日) 10:00-17:00
視察ツアー+講師アドバイス+個別ワーク
『地域資源を活用したアクションプランの立案』2.21 (土) 10:00-17:00 第3回実践塾
2.22 (日) 10:00-17:00
レクチャー+講師アドバイス+最終プレゼン
『アクションプランの第一歩を定める』

申し込まれる方へ

- ・全日参加できる方が対象です。
 - ・申込内容をもとに事務局で受講生選考を行います。可否についてはメールでご案内します。
 - ・時間帯はいずれも10時～17時ですが、プログラム内容により前後する可能性があります。
 - ・会場の具体的な場所は、受講生に別途ご案内します。
 - ・チームでの参加を推奨しております。
- └ 1チーム2、3名程度（個人での参加、参加メンバーが3名を超える場合には事務局まで一度ご相談ください。）

申込方法

右のQRコードもしくは
下記URLからお申し込みください。

<https://renovaring.com/works/139>



申込みフォーム

エリアマネジメント実践塾
受講生募集期間
8.30(土)~11.25(火)

AREA MANAGEMENT
PROGRAM

シンポジウム

8.30 (土) 14:00-17:00

テーマ「エリアマネジメントとは何か？」

ブレスクール

9.27 (土) 14:00-17:00

第1回ブレスクール：ケーススタディ

10.18 (土) 15:00-18:00

第2回ブレスクール：現地視察+ケーススタディ

エリアマネジメント実践塾

12.14 (日) 10:00-17:00

第1回エリアマネジメント実践塾：ガイダンス+座学+個別ワーク

1.24 (土) 25 (日) 10:00-17:00

第2回エリアマネジメント実践塾：視察ツアー+個別ワーク

2.21 (土) 22 (日) 10:00-17:00

第3回エリアマネジメント実践塾：レクチャー+最終プレゼン

＼特設ページ／



まちをかえる、あなたの一歩。エリアマネジメントとは何か？

AREA
MANAGEMENT

What's “AREA MANAGEMENT”?

エリアマネジメントとは、特定の地域において、増え続ける空き家、空き店舗等の空間資源をリノベーション等によって新しい役割を与え再生することで、収益を得ながら地域課題の解決や地域価値の向上を図る取り組みです。

多様な主体と連携し、地域の未来を描き、実行に移す「稼ぐ力」を備えた人材が今、地域に求められています。

About 兵庫県エリアマネジメント実践塾とは？

エリアマネジメント実践塾は、兵庫県内の地域に眠る空き家や空き店舗といった空間資源を活用し、まちの価値を高める「稼ぐまちづくり」の担い手を育成するプログラムです。建築・不動産・金融などの専門知識に加え、地域住民や行政と連携しながら企画を立案・実行するスキルを学びます。まちづくり実践者によるレクチャーとワークを通じて、実際に空き家等を活用して行う事業を考え実践する力を身につけます。



次年度以降、エリアマネジメント事業の取り組みをする事業者への、県の支援制度を検討中！

キックオフイベントのシンポジウムやプレスクールでは、レクチャーやトークセッションを通じてエリアマネジメントに関するインプットを行います。5日間のスクールでは講師から不動産やファイナンス等の専門的なアドバイスを受けながら、スクール受講後の実践につながるよう参加者一人一人が空き家を活用したエリアマネジメント事業の計画立案を行います。

こんな方に
参加してほしい

- ✓ 空き家等の空間資源を活用した事業に挑戦したい
- ✓ 収益を得ながら地域課題を解決するエリアマネジメントに興味がある
- ✓ すでにエリアマネジメントに取り組んでいるが更なるスキルアップを目指したい

AREA

SYMPOSIUM シンポジウム

KICK OFF

8.30⁺
14:00-17:00
I 神戸市

THEME
エリアマネジメントとは何か？



GUEST
西村 浩氏
・リノベリング
・ワークヴィジョンズ
(佐賀市 / 東京都)

土木出身ながら建築の世界で独立。建築・土木分野のデザインや、全国各地の都市再生戦略立案に取組む。日本建築学会賞他、受賞歴多数。姫路市他全国のリノベーションスクールの全体プロデュースを務める。

事例紹介：佐賀『ワイワイ!!コンテナ』 / 兵庫県元町ストリートマーケットetc.

建築・不動産・まちづくりの分野の第一線で活躍する2名の実践者による事例紹介とトークセッションを行います。地域資源の活用や建築・不動産の面的展開によるまちづくりの可能性を深掘りします。



GUEST
畑本 康介氏・緑葉社 (たつの市)

たつ市の市域野地区の重信地区を中心に約80棟の空き家管理、多数の新規出店を誘致。地域の価値創出に取組む緑葉社を主宰し、不動産事業者の転職を促したエリアマネジメントによる持続可能で魅力あるまちづくりを実現。

PRE-SCHOOL プレスクール

ORIENTATION

第1回
9.27⁺
14:00-17:00
I 尼崎市

THEME
地元での人材発掘と資金調達の方法



GUEST
小友 康広氏
・上町家守舎 (花巻市)

(株)小友木材店をはじめ興業種5社を東京と岩手で経営。老舗木材店の長男、ITベンチャー企業に就任の後、2014年小友木材店の代表取締役就任。2015年秋花巻家守舎を設立後、若狭百貨店を引継ぐために上町家守舎も設立。

事例紹介：マルカンビル、花巻おもち美術館

空き家を活かす担い手の発掘や、地域に根ざした事業の資金調達などをテーマに、実際にエリアマネジメントに取り組む事例を紹介。実践に向けた一歩を踏み出すための視点と手法に焦点を当てます。



GUEST
齋藤 翔太氏
・福とアガベ (男爵市)

福とアガベ共同代表取締役。元日本政策金融公庫職員。クラウドサテライト事業を軸にまちづくり事業も展開し、3年半の間にデットで6.5億円の資金を調達し、8拠点を開業。地域に根ざし、地域資源を活かす持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

第2回
10.18⁺
15:00-18:00
I 姫路市

THEME
地元企業が担う
“エリア価値向上に寄与する事業”展開とその手法



GUEST
坂東 範人氏
・神姫バス (姫路市)

2007年入社。2年目より10年間、TSUTAYA店舗の店長や事業統括マネージャー、保育事業担当、新規事業開発・CVC運営担当を経て、不動産事業の課長を務める。地元有力企業の立場からとしてquodとともに姫路広域の不動産投資会社設立を推進。

地元企業が挑戦する、自社の不動産や資金を活かしたエリア価値を高める事業とは何か。エリアマネジメントの機運が高まりつつある姫路市網干地区を舞台に、収益性とまちへの貢献を両立させる実践的な考え方と手法に理解を深めます。



GUEST
飯塚 洋史氏
・quod (富山市)

2009年(株)日本政策投資銀行入行。2017年ローカルブレイスブランディングを推進するquod創業。文化資本を生かした物件開発、地域経営の仕組づくりに強み。神姫バスと姫路広域不動産投資会社設立推進。

SCHOOL エリアマネジメント実践塾

LEARN&BRUSH UP

第1回
12.14⁺
10:00-17:00
I 姫路市

THEME
地域資源を「発掘」し「ビジョン」を定める

地域資源の活かし方や都市の見立て方、課題解決につながる企画づくりの基礎を学びます。エリアマネジメントに必要な能力を可視化し、自身の強みや課題を把握。次のフェーズで重点的に学ぶ内容への理解を深めます。

#ガイドダンス #都市を見立てる #課題を把握する



西村 浩氏



畑本 康介氏

第2回
1.24⁺25⁺
10:00-17:00
I たつの市

THEME
地域資源を活用したアクションプランの立案

たつの市での現地視察とレクチャーを通じて、地域との関係づくりや空間資源の活用、担い手の発掘など、事業企画に必要な要素を学びます。建物単体の活用に留まらず、地域全体に波及する「不動産の面的活用戦略」を実際に立案します。

#視察ツアー #不動産の面的活用 #事業案の具体化



西村 浩氏



畑本 康介氏



小友 康広氏

第3回
2.21⁺22⁺
10:00-17:00
I 姫路市

THEME
アクションプランの第一歩を定める

前回で立案した「不動産の面的活用戦略」を、市場調査や収支計画などを踏まえて実践可能な形にブラッシュアップします。ファーストステップを明確にし発表することで、受講後の実践に結びつけます。

#プレゼン #ブラッシュアップ #実践に向けた一歩



西村 浩氏



畑本 康介氏



飯塚 洋史氏